

2022年2月22日

株式会社三菱UFJ銀行

三重県が発行するグリーンボンドへの投資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下 当行）は、本日、三重県が発行する「三重県令和3年度第2回公募公債（グリーンボンド）」（以下 本債券）への投資を決定いたしました。

本債券は、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券です。本債券の発行により調達された資金は、三重県が策定する「みえグリーンボンドフレームワーク^[1]」で示されている地球温暖化の緩和策としての温室効果ガスの排出削減・吸収源対策事業や、適応策としての気候変動による影響の軽減対策事業に充当されます。

なお、本債券は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、セカンド・パーティ・オピニオンを取得し、国際資本市場協会（International Capital Market Association/ICMA）が定義する「グリーンボンド原則 2021^[2]」および環境省が定義する「グリーンボンドガイドライン 2020年版^[3]」に適合していると認められております。

当行は、本債券への投資を通じ、今後も環境事業の促進を図ると同時に、責任ある機関投資家としての責務を果たし、持続可能な社会の形成への貢献をより一層進めてまいります。

【本債券の概要】

銘柄	三重県令和3年度第2回公募公債（グリーンボンド）
年限	10年
発行額	50億円
発行日	2022年3月4日

[1] 三重県が策定する「みえグリーンボンドフレームワーク」は以下をご参照ください。

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000987331.pdf>

[2] 国際資本市場協会（ICMA）が定義する「グリーンボンド原則 2021」（英文）は以下をご参照ください。

<https://www.icmagroup.org/green-social-and-sustainability-bonds/green-bond-principles-gbp/>

[3] 環境省が定義する「グリーンボンドガイドライン 2020年版」は以下をご参照ください。

<https://www.env.go.jp/press/107803.html>

以上